

2022年1月22日

HbA1c(ヘモグロビン A1c) 報告書への溶血コメント追記のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

日本糖尿病学会糖尿病関連検査の標準化に関する委員会から報告された「遠心処理後に測定する HbA1c 測定法での採血管の取扱い」において、全血の検体を長時間冷蔵保存し搬送した場合に、赤血球が溶血し HbA1c が低値になることが報告されました。この報告を受け、検体に著しい溶血(溶血血漿中のヘモグロビン濃度が 0.5g/dL 以上)が確認された場合、検査結果に「参考値です」というコメントを付けて報告させていただきます。

敬白

記

【対象項目】

- HbA1c:NGSP(ヘモグロビン A1c) 〈コード No.34811(従来システム 281)〉

【対応内容】

著しい溶血(溶血血漿中のヘモグロビン濃度 0.5g/dL 以上)が確認された場合、検査結果に「参考値です」というコメントを付けて報告させていただきます。

【対応開始日】 2022年2月1日(火) ご依頼分より

◎検体の溶血リスクを低減させるため、採血直後にゆっくり転倒混和(5回以上)していただき、冷蔵でご提出くださいますようお願いいたします。

〈参考文献〉 桑 克彦, 他:糖尿病 64(5), 336~339, 2021.

以上